

基調講演

子どもたちを再び戦場に送らないために

子どもたちの命と希望を紡ぐ教育を

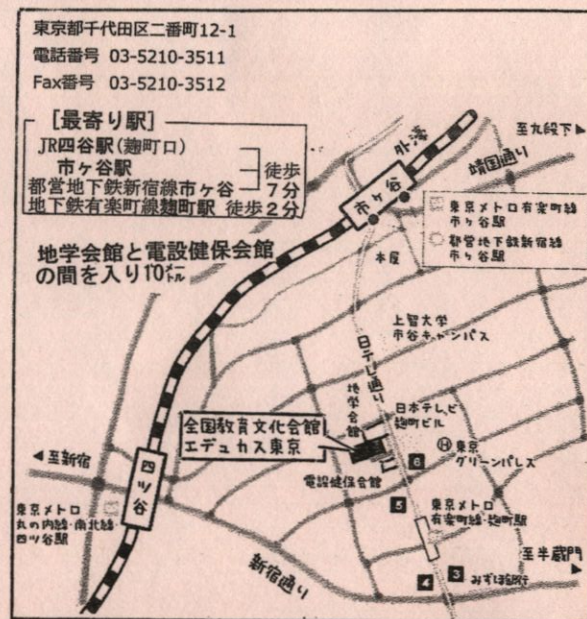
日 時 = 10月17日（金）14：00～16：30
場 所 = 全国教育文化会館（エデュカス東京）地下会議室
講 師 = 佐藤広美 先生（東京家政学院大学教授・教育科学研究会副委員長、事務局長）

—— 会員以外の方もぜひご参加下さい ——

東日本大震災からの「復興」に向けての学校づくり、教育実践は、教育は子どもたちの命と希望を紡ぐ営みであるということをはっきりと明らかにしています。講師の佐藤広美先生は「教育改革の基本原則は、傷つきながらも人間への信頼をつなぐ被災地の人たちの声に応じてこそ、形づくられなければならない」とおっしゃっています（下記『講座 教育実践と教育学の再生』第5巻「3・11と教育改革」あとがき）。

ところが今、教育基本法を改悪した安倍政権は、交戦権の否定および戦力の不保持を宣言した憲法の平和主義理念を根底から覆し、海外で戦争ができる国へと「集团的自衛権行使容認」を一内閣の解釈で決定してしまいました。それを阻止して子ども・若者に生きる希望を育む未来を保障してやれるのか、私たちは戦後最大の岐路に直面しています。

このとき、「人間への信頼をつなぐ」ほんとうの教育とはどうあるべきなのか、子どもたちを再び戦場に送らないために私たちはどうすべきなのか、みんなで考え合っていきたいと思います。ご多忙とは思いますが、お誘い合せて是非ご参加下さい。



[講師(さとうひろみ先生)プロフィール]東京家政学院大学教授(日本教育思想史・教育政策論)・教育科学研究会副委員長、事務局長
(主な著書)『21世紀の教育をひらく—日本近現代教育史を学ぶ』(緑蔭書房)、『現実と向きあう教育学』(共著・大月書店—「新自由主義『教育改革』と教育実践の課題」)、『講座教育実践と教育学の再生』(5巻+別巻 編集委員・共著・かもがわ出版—「復興の教育思想を考える」)等

東京の教育を考える校長・教頭(副校長)経験者の会
代表 茂木俊彦:事務局代表 鈴木 淳(連絡先=042-691-3644)